

2018年3月期 第2四半期 決算説明会資料



ワイン通販
「マイワインクラブ」



グルメ通販
「旨い酒が飲みたい」



通販サイト「ベルーナ」



基幹カタログ「ベルーナ」



アパレル店舗「BELLUNA」

ベルーナ

2017年11月24日（金）

1.決算ハイライト	P.2
2.経営方針と取り組み	P.12
3.参考資料	P.32

1. 決算ハイライト

BELLUNA

1. 決算総括
2. 決算概況
3. セグメント別損益
4. 売上の増減分析
5. 営業利益の増減分析
6. 貸借対照表
7. キャッシュフロー計算書
8. 今期予算について

売上、利益共に業績予想を上回って着地となった

- 売上高は前年比+12.3%増で着地
- 営業利益も店舗販売などが牽引し前年比+34.5%増
- 経常利益は為替関連損益がプラスに転じたことで55.3億円
- 当期純利益は固定資産の売却などもあり、43.3億円での着地となった。

1-2. 決算概況

BELLUNA

- 売上高 ～ 前年比+12.3%増で予算を上回る
 営業利益 ～ 店舗販売などが牽引し、予算をクリア
 経常利益 ～ 為替関連損益がプラスとなり大幅に上回って着地

単位：億円

連結	17/3期2Q累計	18/3期2Q累計			18/3期
	実績	実績	予算比	前年比	予算
売上高	666.8	748.6	2.6%	12.3%	1,600.0
売上原価	292.1	331.9	-7.8%	13.6%	690.0
販売管理費	343.2	374.5	1.2%	9.1%	780.0
営業利益	31.5	42.3	0.7%	34.5%	130.0
営業外損益	-39.5	13.0	3.3倍	-	5.0
(内、為替関連損益)	(-45.7)	(9.4)	-	-	-
経常利益	-8.0	55.3	22.9%	-	135.0
当期純利益	-8.3	43.3	49.4%	-	88.0

1-3. セグメント別損益

売上高 ～ すべてのセグメントで増収を達成

営業利益～ 専門通販とソリューションを除き増益

- ・ アパレル店舗の収益性改善と不動産の売却やホテルの増益が牽引
- ・ 専門通販は媒体費の前倒し投下の影響などにより減益
- ・ ソリューションは同送同梱サービスの減収により減益

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

	18/3期2Q累計								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	計
売上高	372.3	204.8	72.9	29.3	16.9	35.2	22.0	-4.8	748.6
前年比 (%)	+9.1%	+9.1%	+18.5%	+6.2%	+12.2%	+93.1%	+17.9%	+44.5%	+12.3%
予算比 (%)	+0.4%	+0.7%	+3.4%	+10.6%	+1.0%	+1.8%	+8.0%	-62.1%	+2.6%
営業利益	10.9	7.1	5.9	11.8	7.2	5.1	-4.5	-1.3	42.3
前年比(億円)	0.5	-0.5	5.0	-1.2	1.8	5.0	0.0	0.3	10.9
予算比(億円)	-0.7	-2.7	1.0	0.4	0.8	-0.9	1.0	1.4	0.3
営業利益率	2.9%	3.5%	8.1%	40.3%	42.8%	14.6%	-20.6%	27.2%	5.7%

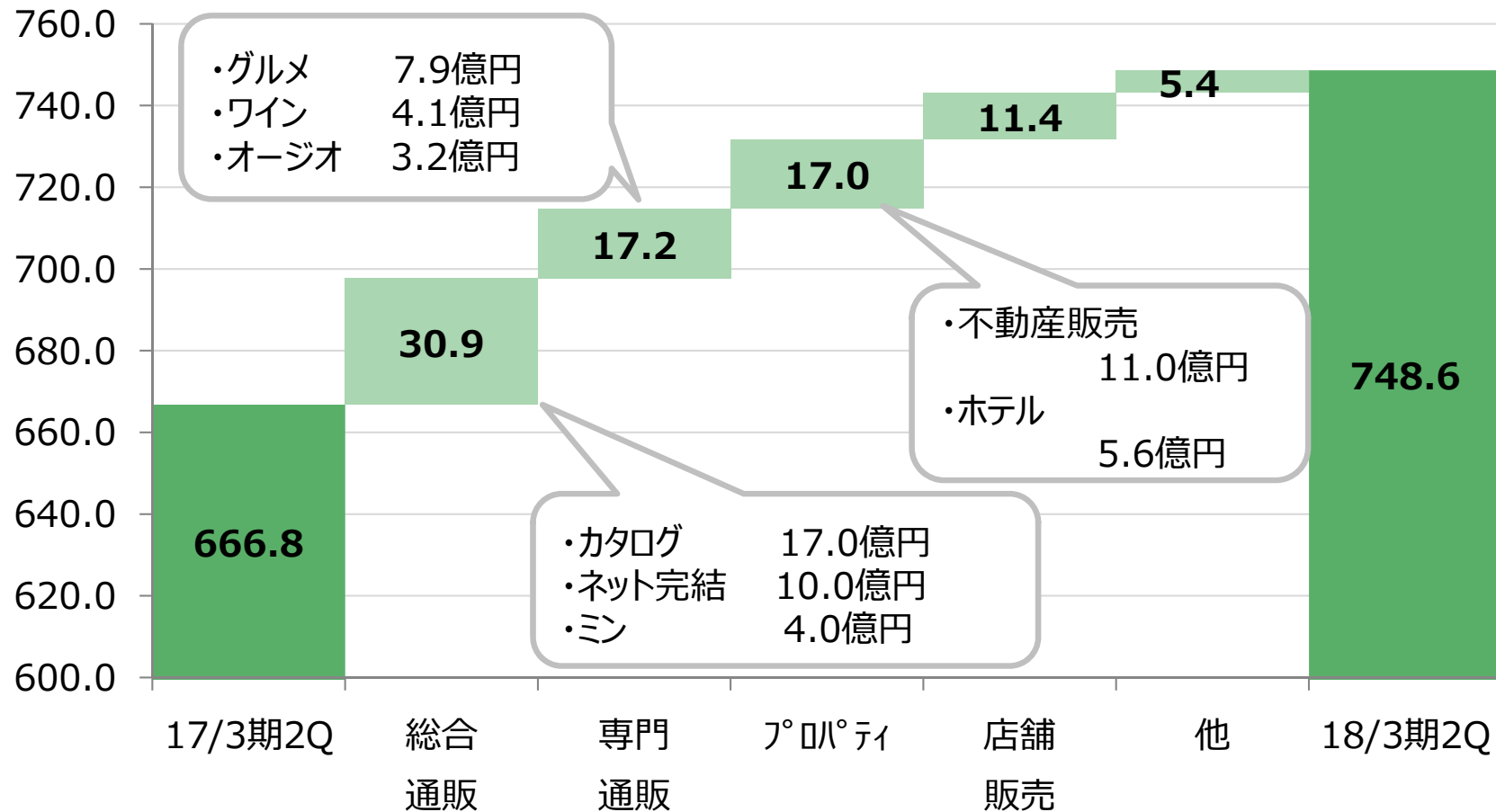
※(株)マイムは店舗販売からその他セグメントに区分変更

1-4. 売上の増減分析

総合通販は堅調なカタログとネットが、専門通販はグルメ事業などが中心に増収を牽引。ホテルの増収も寄与

売上高の増減要因

単位：億円

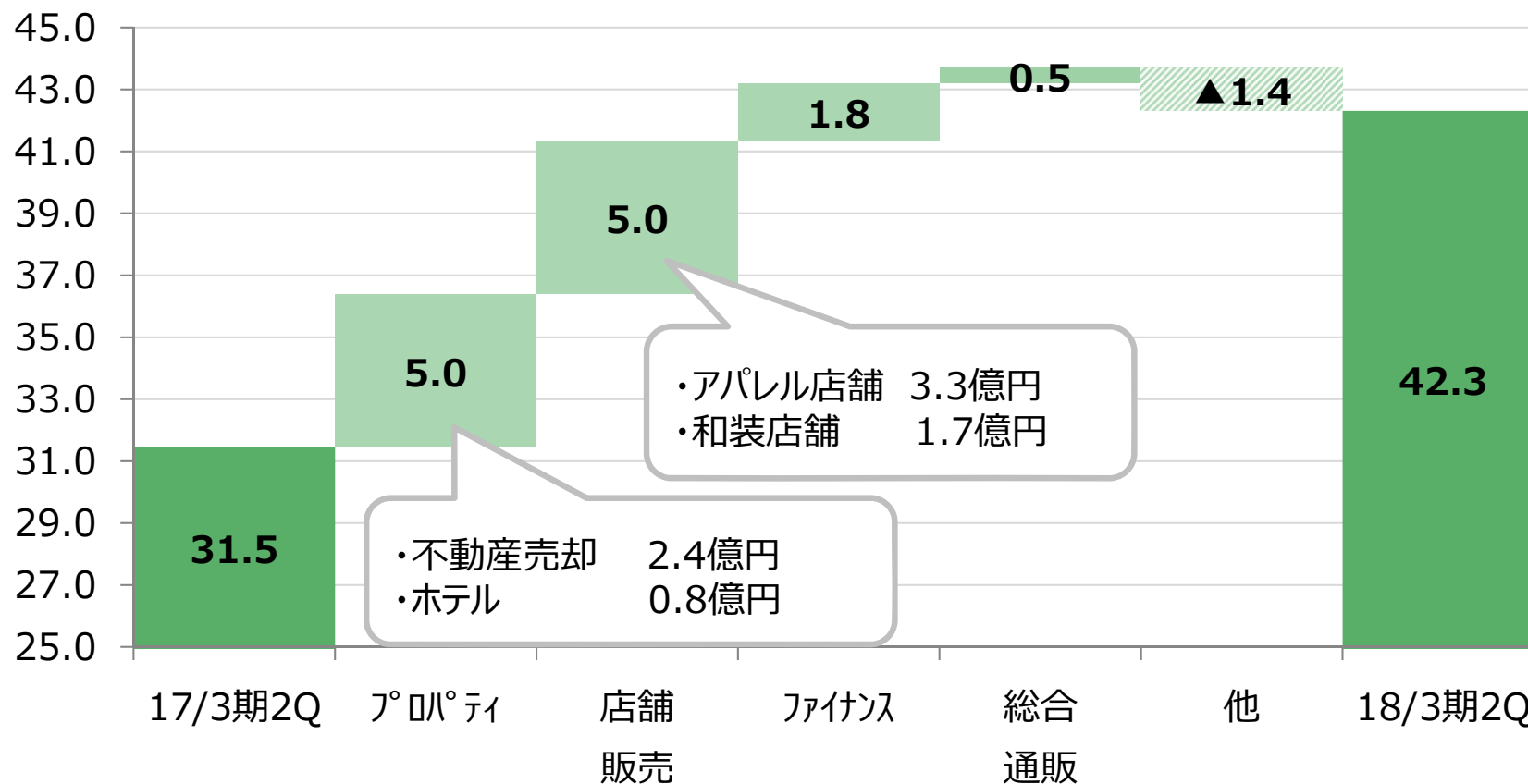


1-5. 営業利益の増減分析

ホテルの増益などに加えて、店舗販売はアパレル店舗の収益性改善と和装店舗の増収効果により増益。

営業利益の増減要因

単位：億円



1-6. 貸借対照表

BELLUNA

資産では商品や営業貸付金の増加に加え有形固定資産等が増加。有利子負債の増加はあったが、自己資本比率は前期末と同水準を維持。

単位：億円

	16/9末	17/3末	17/9末	前期末比
流動資産	804.0	847.9	857.3	9.4
現金及び預金	159.4	201.8	169.6	-32.1
営業貸付金	188.9	189.6	200.0	10.4
商品	183.6	159.7	188.6	28.9
固定資産	924.8	942.3	1,015.7	73.4
有形固定資産	639.6	642.6	707.8	65.2
投資有価証券	136.0	132.4	141.8	9.4
総資産	1,728.8	1,790.2	1,873.1	82.8
負債	950.8	912.5	975.2	62.7
支払手形及び買掛金	179.1	177.4	191.5	14.1
有利子負債	555.2	520.8	578.6	57.8
純資産	778.0	877.7	897.9	20.1
利益剰余金	670.1	633.6	670.8	37.3
【自己資本比率】	[44.7%]	[47.4%]	[47.4%]	[-0.0P]

1-7. キャッシュフロー計算書

BELLUNA

有形固定資産の取得などにより、投資キャッシュフローはマイナス
長短借入金は減少し、全体としてキャッシュは減少した。

	17/3期2Q 累計	18/3期2Q累計		単位：億円
		実績	前年比	
営業活動によるキャッシュフロー	-17.1	12.5	29.6	
税金等調整前当期純利益	-10.0	60.2	70.2	
運転資本の増減	-5.4	-18.7	-13.3	
法人税等の支払額	-9.5	-28.5	-19.0	
投資活動によるキャッシュフロー	-82.0	-72.1	9.9	
有形固定資産取得による支出	-57.2	-91.5	-34.3	
有形固定資産の売却による収入	0.0	28.9	28.9	設備投資*1 97.4億円
財務活動によるキャッシュフロー	73.8	26.7	-47.0	
長短借入金の増減	83.5	58.1	-25.4	減価償却費*2 12.6億円
キャッシュに係る換算差額	-5.0	0.3	5.3	
キャッシュ増加額	-30.3	-32.5	-2.2	

*1: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む

*2: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却や長期前払費用も含む

1-8. 今期予算について

BELLUNA

売上、利益ともに進捗は予算を上回っている。

今期は売上高～当期利益まで達成できる見込み

単位：億円

連結	16/3期		17/3期		18/3期	
	予算	実績	予算	実績	予算	前年比
売上高	1,300.0	1,317.4	1,400.0	1,460.8	1,600.0	+9.5%
営業利益	85.0	83.7	110.0	108.8	130.0	+19.5%
経常利益	102.0	71.1	110.0	121.9	135.0	+10.8%
当期利益	67.5	35.4	70.0	58.0	88.0	+51.6%
有利子負債	450～500	464.7	430～480	520.8	530～580	+1.8～11.4%
純資産	850.0	806.5	865.0	877.7	929.3	+5.9%
ROE	8.0%	4.4%	8.1%	7.0%	9.5%	2.5P

1-8. 今期予算について

BELLUNA

全体として概ね業績予想に沿った形で進捗しており
通期の営業利益予算はクリアできる見込み

セグメント別の予算

単位：億円

	18/3期 予算								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	リ ュー ション	ファイ ナンス	フ ロ パ ティ	その他	連結 消去	計
売上高	822.0	454.8	137.2	58.2	34.7	52.5	66.0	-25.5	1,600.0
前年比 (%)	+9.2%	+10.9%	+12.1%	+7.2%	+12.2%	+44.5%	+9.1%	+314.1%	+9.5%
営業利益	40.5	33.5	8.5	24.6	14.0	10.8	1.4	-3.3	130.0
前年比(億円)	-4.2	6.0	7.0	0.4	2.2	10.7	-0.6	-0.4	21.2

※(株)マイムは店舗販売からその他セグメントに区分変更

2. 経営方針と取り組み

BELLUNA

1. 総合通販事業
2. 専門通販事業
3. 店舗販売事業
4. プロパティ事業
5. 新規事業の展開
6. 株主還元

2. 経営方針 ～外部環境

経営計画は、外部環境の変化（消費環境の変化や
ネットの伸長）に対応

外部環境

- デフレマインドの継続
- ネットの伸長
- 物流環境の変化

内部環境

- ネットの成長
- 組織の成熟
- 土壌作り（収益の基盤）

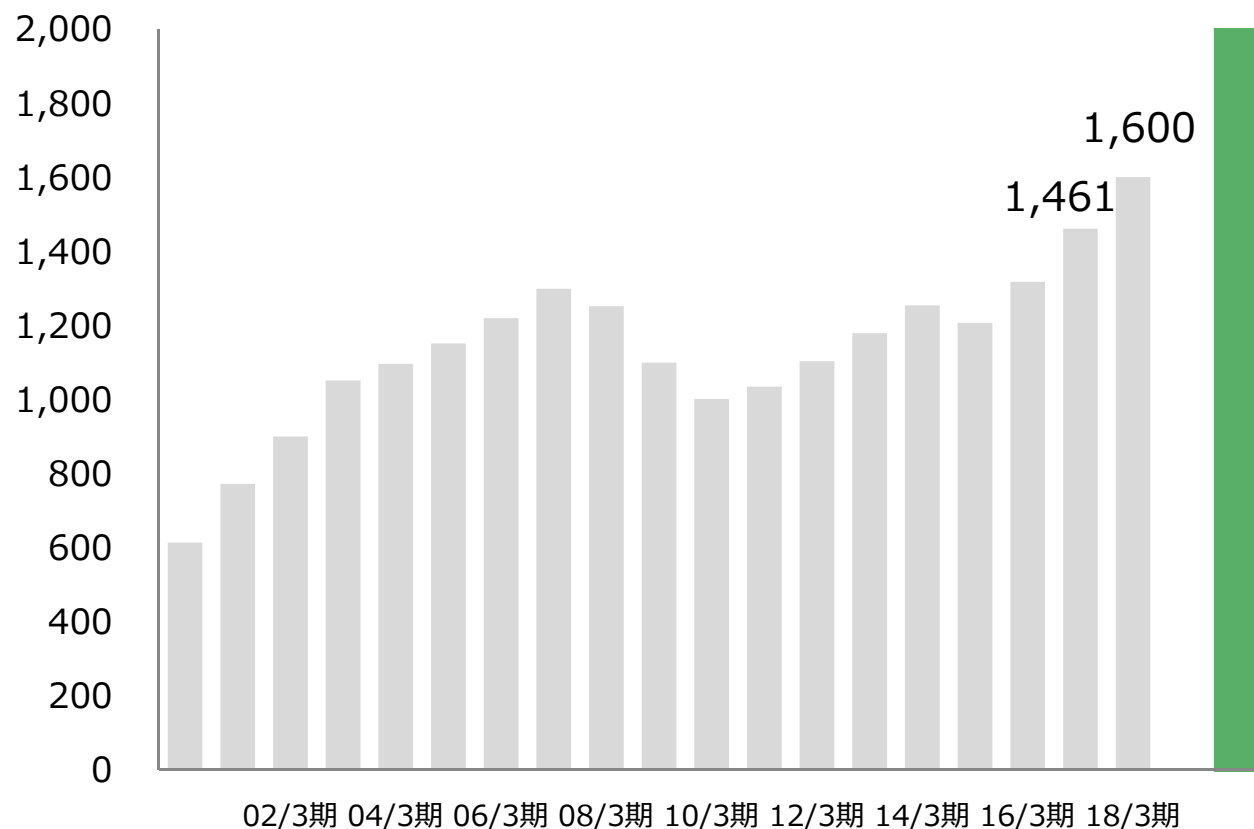
2. 経営方針

BELLUNA

第3次経営計画の達成と売上高2,000億円に向けて

売上高の推移（億円）

2,000億円



- 過去最高の売上高、営業利益の達成へ向けて取り組んでいる
- 人材の成長が新しい取組みの増加とその成功確率の高まりにつながっている
- 土壌作りを進めていくことで更なる成長・新しい成果を出していく

主力4事業の拡大

1. **総合通販事業**の安定的な成長
2. **専門通販事業**の拡大
3. **店舗販売事業**の拡大と収益改善
4. ポートフォリオの成熟に向けた**プロパティ事業**
の強化



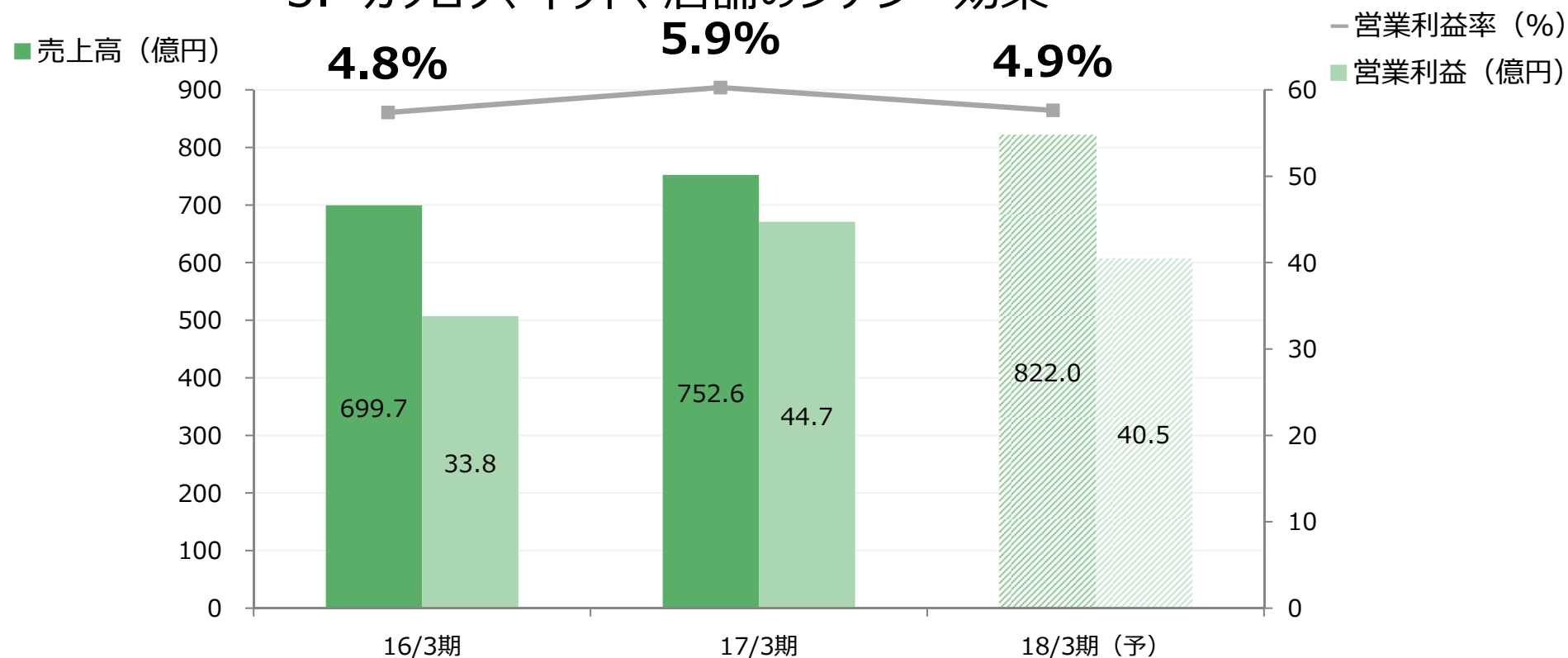
2-1. 総合通販事業

(1) 総合通販事業の状況

成長性を高める施策と収益性を高める施策について

両面からバランスを取りながら取り組んでいく

1. 商品力強化
2. ネットの強化
3. カタログ、ネット、店舗のシナジー効果



カタログ販売の拡大

1. カタログ販売シェア拡大

(1) 既存カタログのブラッシュアップ

① 商品力の強化

② カタログのチェンジ、チャレンジを計る

2. 新規顧客の開拓

(1) マス媒体（無料設置、TV, 新聞）の活用

3. 商品力の強化

(1) 売れ筋商品の開発

① 時流の変化対応

(2) 在庫削減

① SKUの削減

4. インフラの整備

(1) 物流

(2) コールセンター

ネットの強化

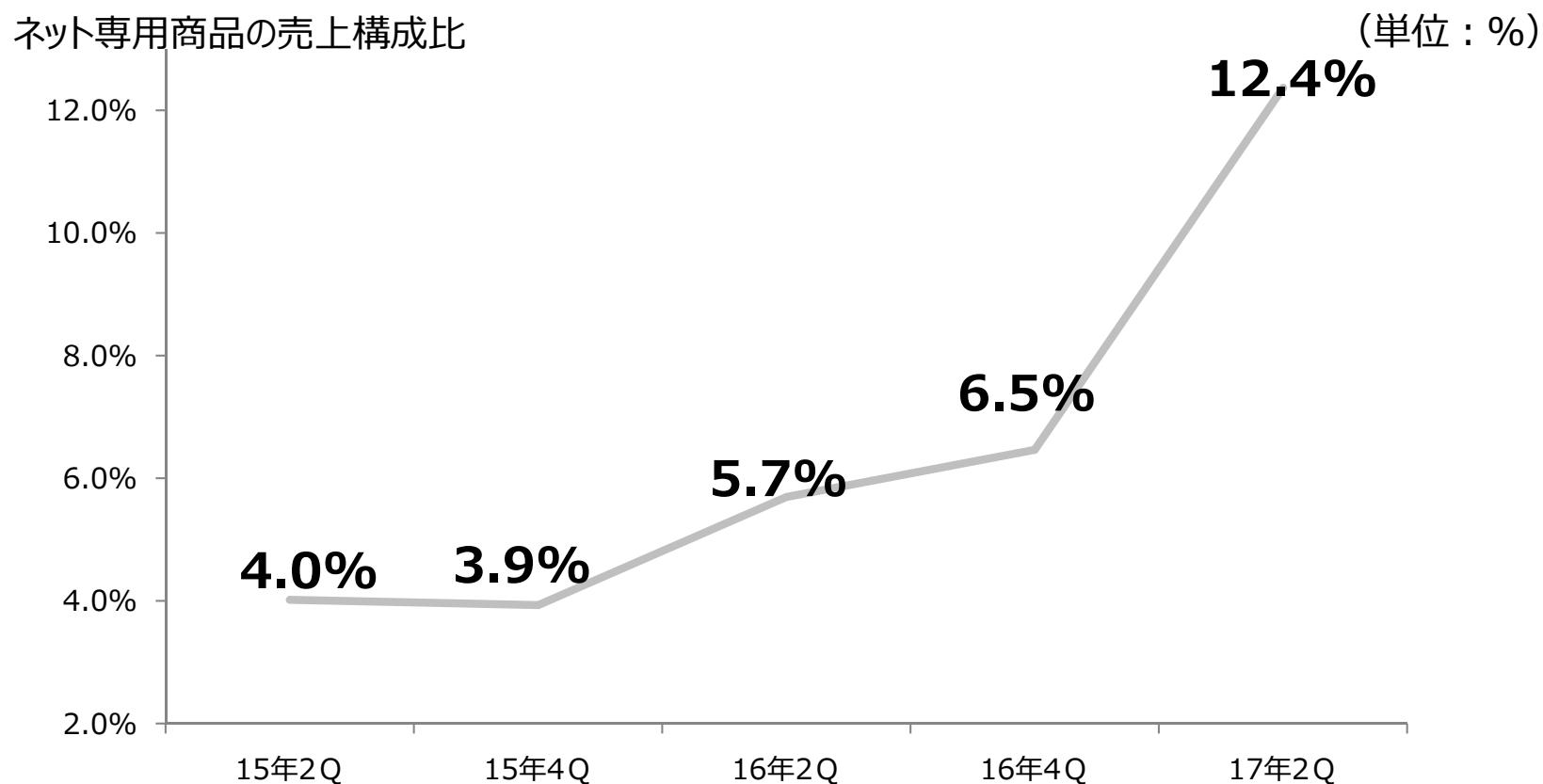
1. ネット専用企画スタッフの増強
2. ネット専用商品投入
 - (1) ブランドコラボ商品投入
 - (2) 定番商品の投入
3. ECサイトの改善
4. 集客の強化

ネットの強化

2. ネット専用商品の売上構成比

17年度目標 12.0% 17年度2Q実績 12.4%

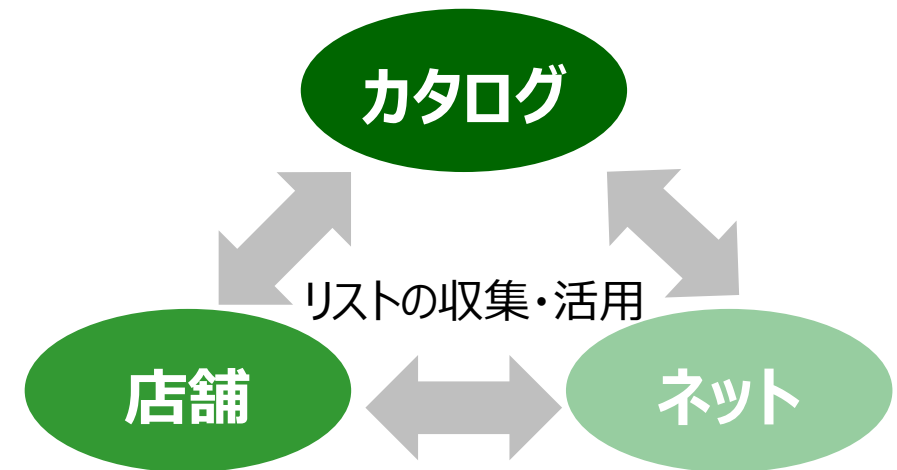
下半期はEC専用商品、委託商品のヒット率向上の土壌を作る



カタログ、ネット、店舗のシナジー効果

1. 相乗効果により相互（カタログ、ネット、店舗）に効率改善

- (1) 通販のレスポンス向上
- (2) ネットのCVR向上
- (3) 店舗の増収効果



2. 効果のあるテレビの活用ができる

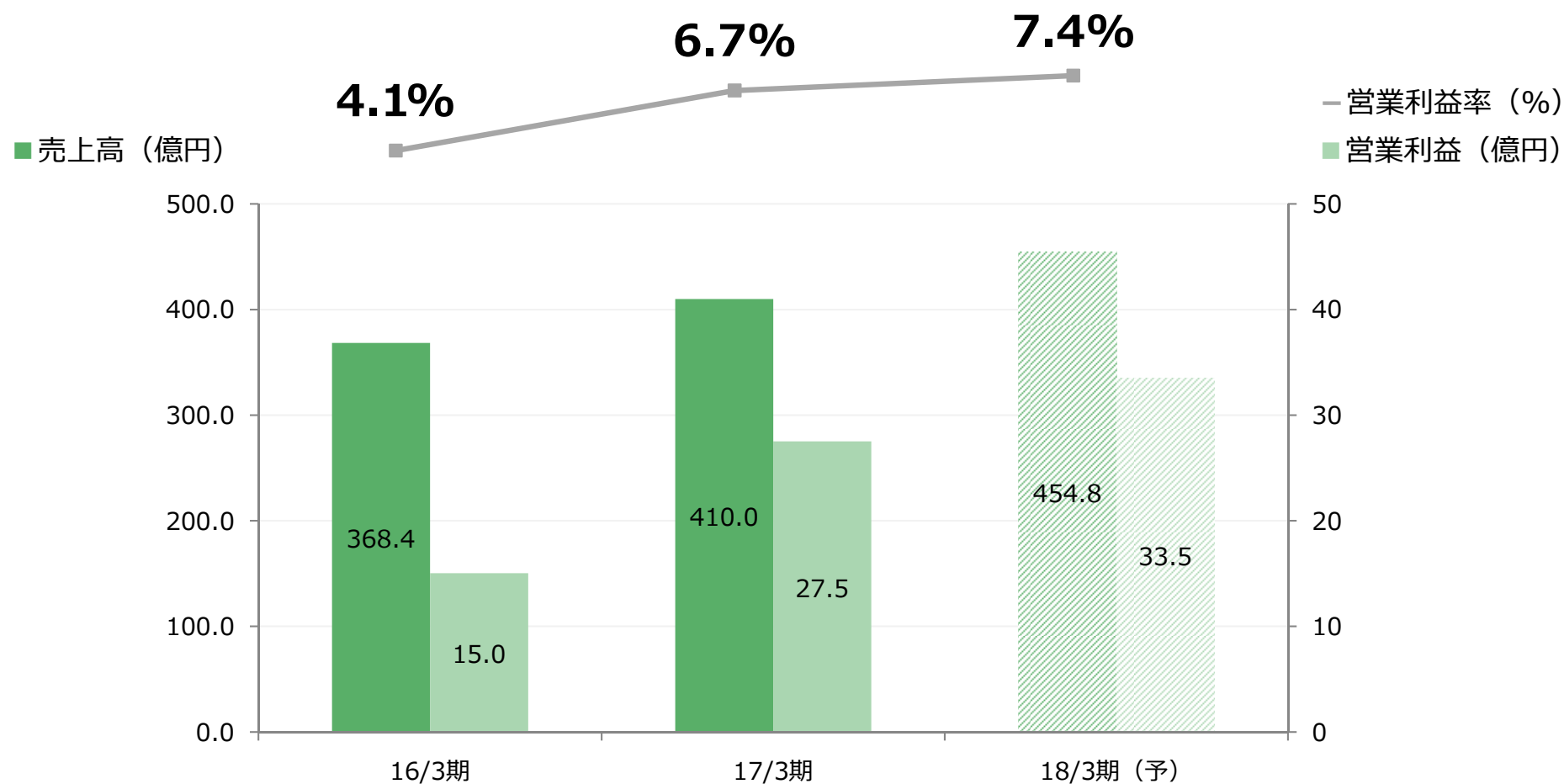
- (1) 売上が大きくなり（カタログ、ネット、店舗）負担を分散できる

2-2. 専門通販事業

BELLUNA

新商品開発が奏功しグルメ事業、化粧品事業が好調

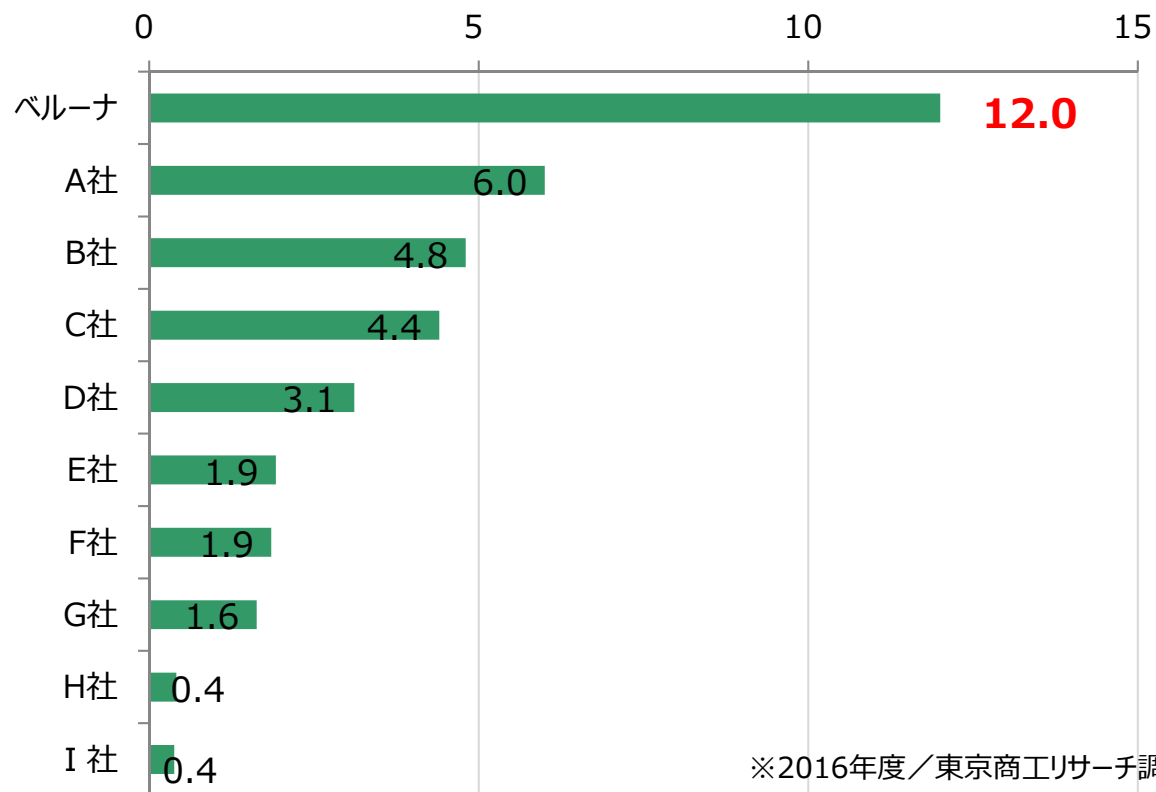
上半期は媒体費の前倒し投下などもあり減益だが通期では
予算を達成する見込み



日本酒通販国内売上高No.1

《日本酒通販国内売上高ランキング》

(単位：億円)



※2016年度／東京商工リサーチ調べ

年間約67万本の
日本酒を販売

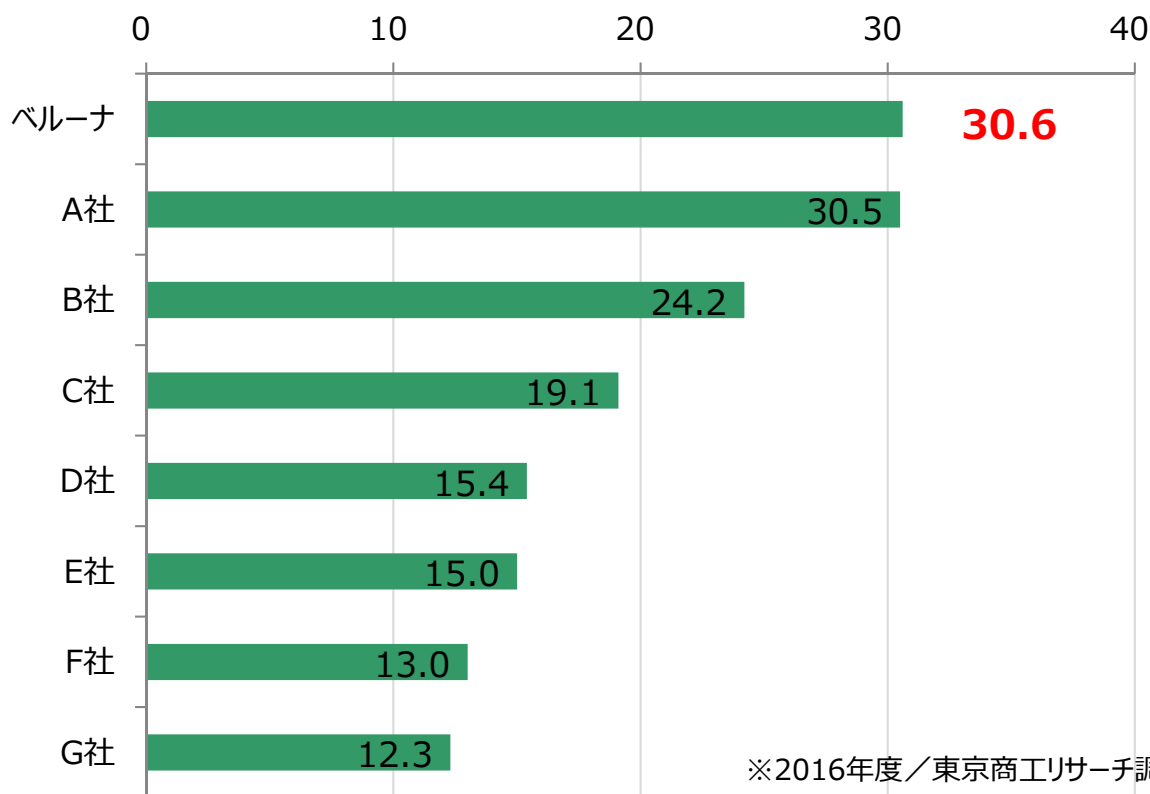


2-2. 専門通販事業

ワイン通販9年連続国内売上高No.1

「ワイン通販国内売上高ランキング」

(単位：億円)



※2016年度／東京商工リサーチ調べ

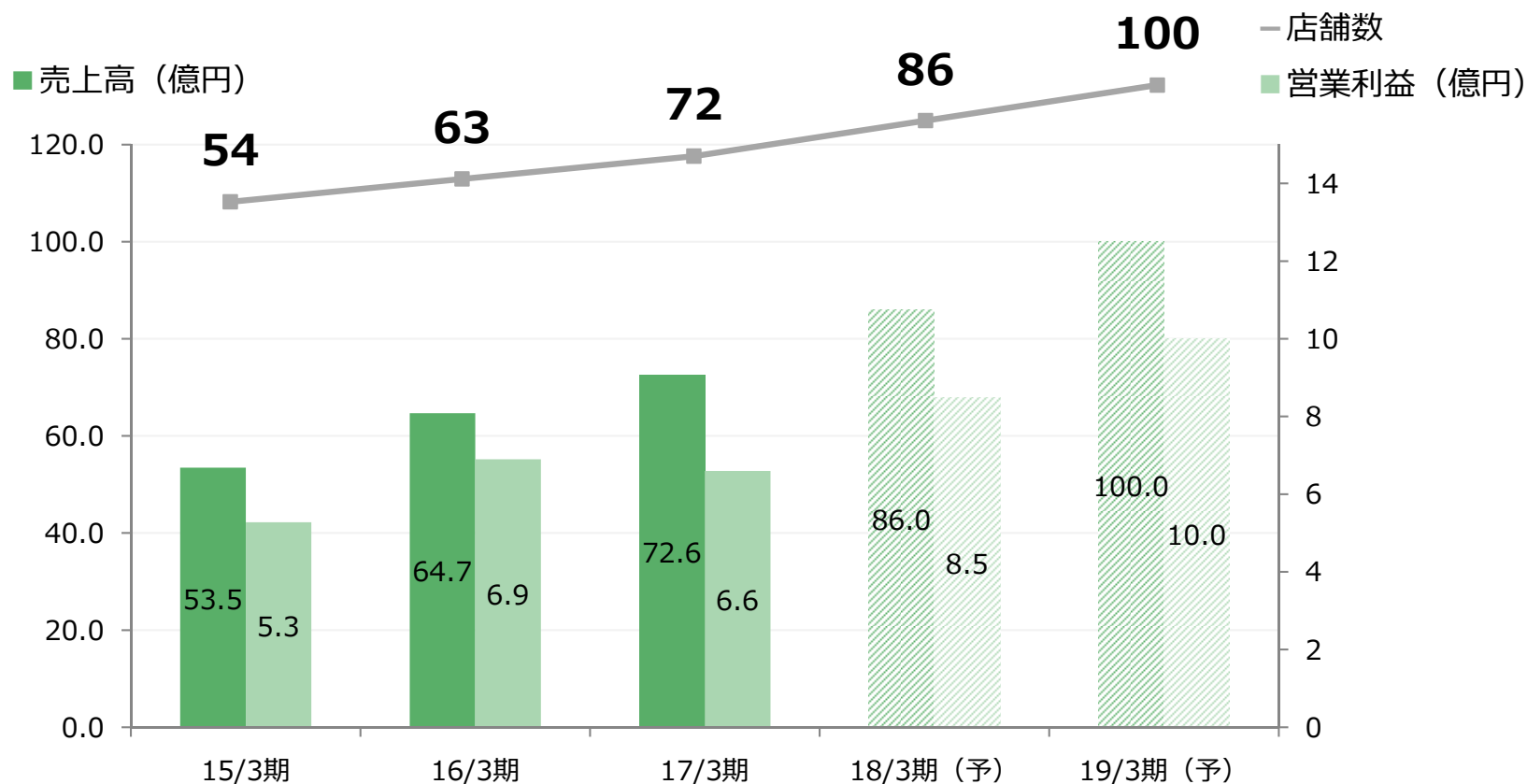
年間約400万本の
ワインを販売



2-3. 店舗販売事業：和装店舗

上半期は売上、営業利益共に計画を上振れて着地。出店店舗数も17/9末74店舗となり通期での予算達成を見込む

BELLUNA



2-3. 店舗販売事業：アパレル店舗

上半期：1店舗出店・9店舗閉鎖

既存店売上高が+3.5%となり売上、営業利益

ともに予算を上回って着地

BELLUNA

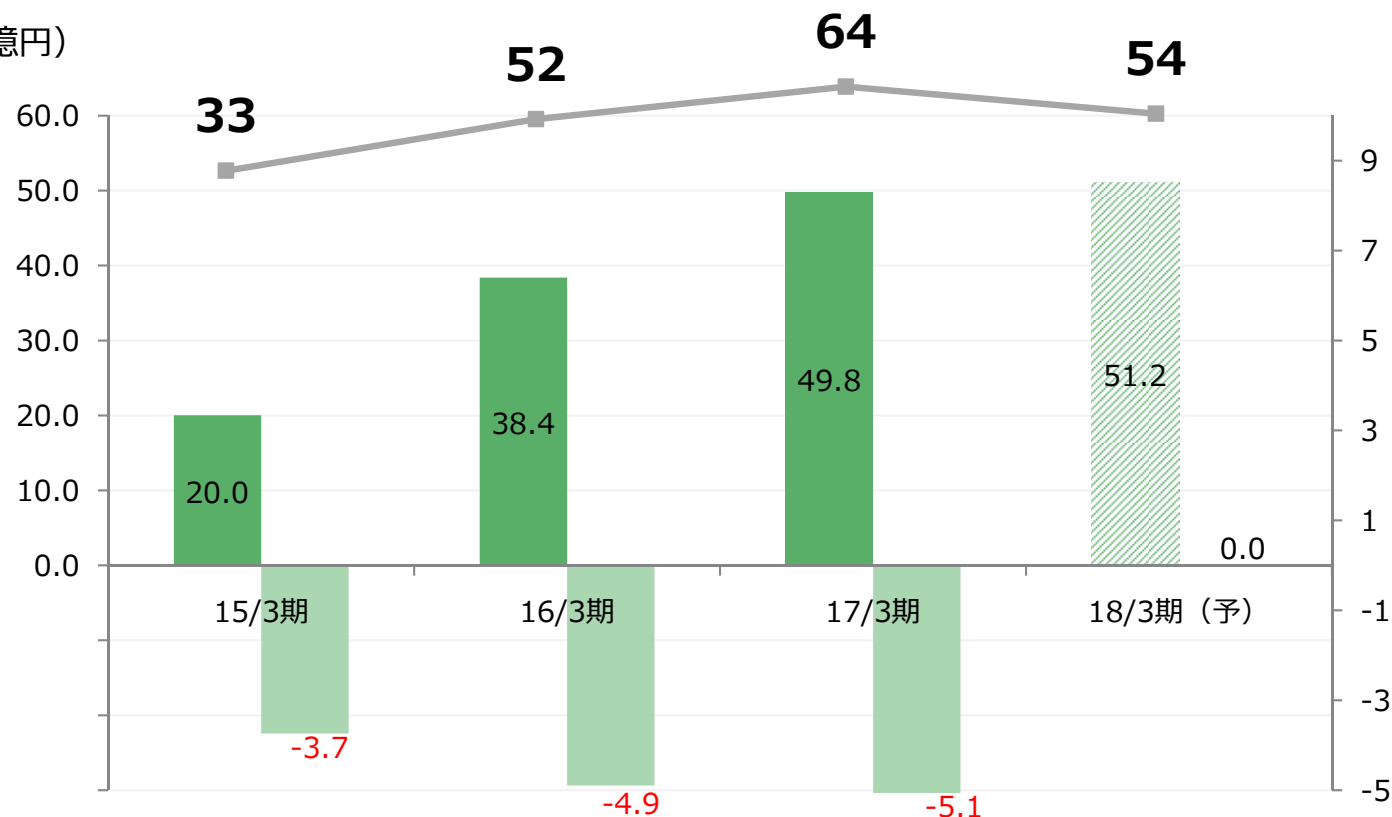


店舗数と売上高の計画

■ 売上高 (億円)

— 店舗数

■ 営業利益 (億円)



2-4. プロパティ事業（ホテル）

今期、ホテル事業は黒字化の見込み

2017年7月に京都に新ホテルオープン

BELLUNA



2-4. プロパティ事業（ホテル）

BELLUNA

【ゴールホテル】 2018年4月オープン予定



2-4. プロパティ事業（ホテル）

BELLUNA

【モルディブホテル】 2018年4月オープン予定



2-5. 新規事業の展開

1. ネットショッピングモールの展開

- (1) 商品力
- (2) システム力
- (3) マーケティング力

2. ナース事業の横展開

～データベースを活かした事業開発～

- (1) ナース向け人材紹介
- (2) ナース向け人材派遣（将来予定）

3. ミニベルーナの海外展開

- (1) 現地にフィットしたベルーナモデルの展開

2-6. 株主還元

安定配当 + 株主優待の実施

<年間配当>

	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期予
EPS (円)	65.77	36.45	59.68	90.50
配当 (円)	12.5	12.5	12.5	12.5

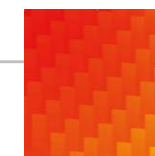
<株主優待>

[内容]	100株以上	500株以上	1,000株以上
総合通販事業の優待券 またはベルーナネットで使用できる優待クーポン またはグルメ・ワイン商品詰め合わせ	1,000円分	3,000円分	5,000円分
裏磐梯レイクリゾート宿泊優待券	1枚	2枚	4枚
ルグラン旧軽井沢宿泊優待券	1枚	1枚	1枚

[対象]

3月末・9月末時点で、当社株式100株以上を保有している株主様（年2回）

※ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回（12月上旬発行分）のみの贈呈となります。



株主様
ご優待券



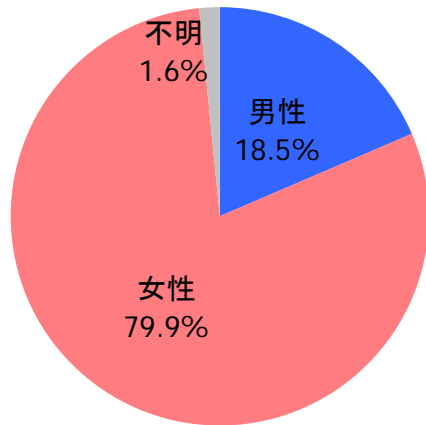
今年度は第三次経営計画の2年
目。経営計画の前倒し達成へ向
けて成果を出すための取り組みを
積極的に行っていく

3. 参考資料

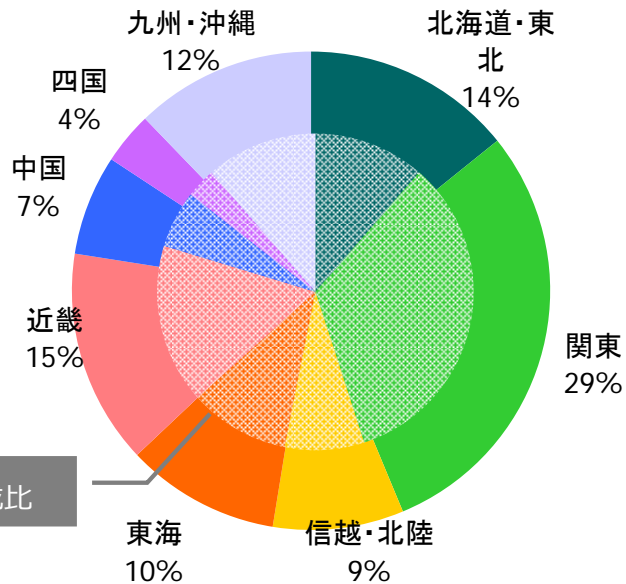
【総合通販】登録会員の特徴

登録会員の特徴（2017年3月末時点）

<性別>

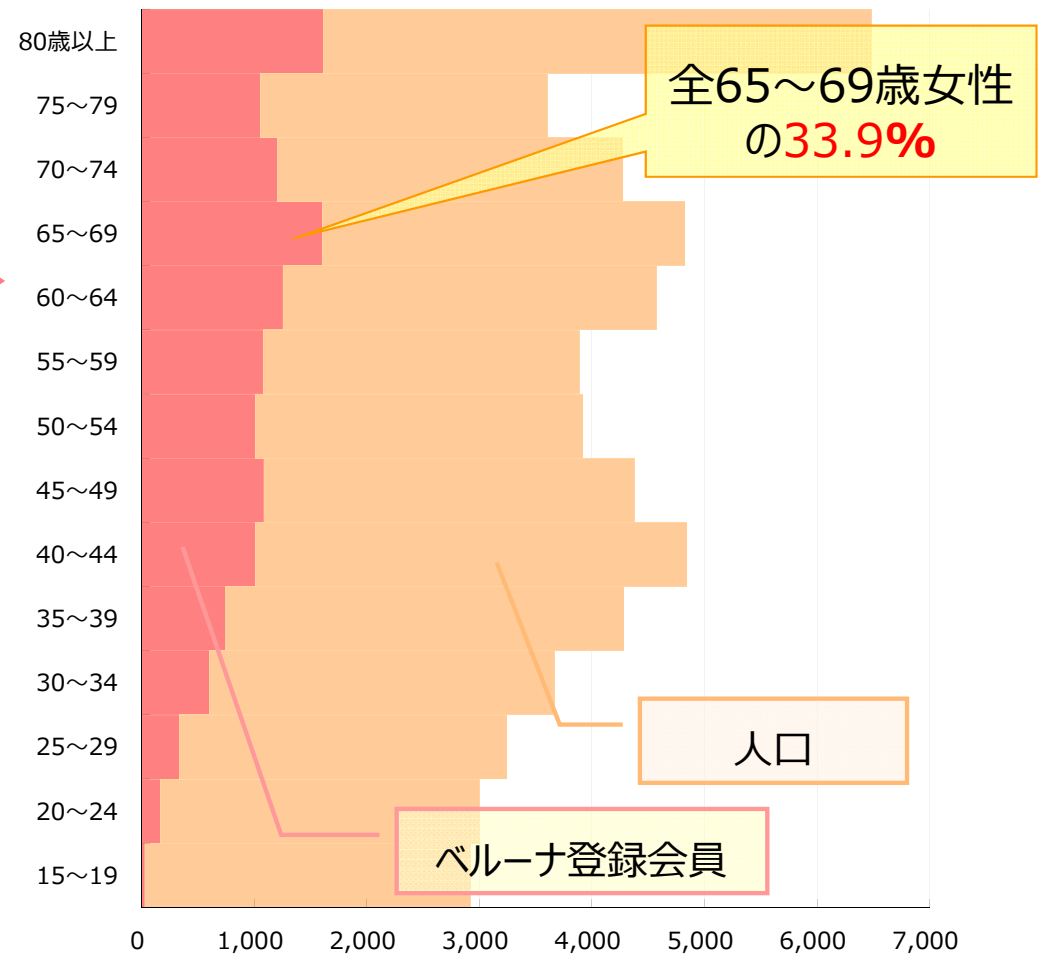


<地域>



<人口ピラミッドとの比較（女性のみ）>

単位：千人



地域別の人口構成比

※総務省統計局データを元にベルーナにて作成

第三次経営計画（セグメント別）

BELLUNA

単位：億円

		第二次経営計画			第三次経営計画		
		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
		実績	実績	実績	実績	予想	計画
売上高	総合通販	753.9	692.1	699.7	752.6	822.0	800.0
	専門通販	272.7	320.3	368.4	410.0	454.8	435.5
	店舗事業	61.2	73.5	103.1	122.3	137.2	178.0
	ファイナンス事業	38.8	26.2	45.8	30.9	34.7	35.0
	プロパティ事業	55.5	21.6	28.5	36.3	52.5	92.0
	ソリューション事業	46.4	47.1	44.2	54.3	58.2	56.0
	その他	30.1	30.9	33.0	60.5	66.2	48.5
	調整	-4.5	-4.9	-5.3	-6.2	-25.5	-45.0
	合計	1,254.1	1,206.9	1,317.4	1,460.8	1,600.0	1,600.0
営業利益	総合通販	15.8	24.2	33.8	44.7	40.5	48.0
	専門通販	15.4	12.3	15.0	27.5	33.5	36.0
	店舗事業	2.5	1.6	2.0	1.5	8.5	11.0
	ファイナンス事業	10.7	9.9	9.6	11.8	14.0	15.5
	プロパティ事業	16.6	4.8	6.5	0.1	10.8	30.0
	ソリューション事業	20.4	15.6	19.9	24.2	24.6	22.5
	その他	-2.4	-2.8	-1.3	2.0	1.4	2.0
	調整	-1.1	-1.8	-1.9	-2.9	-3.3	-4.9
	合計	78.0	63.8	83.7	108.8	130.0	160.0

※(株)マイムは店舗販売からその他セグメントに区分変更

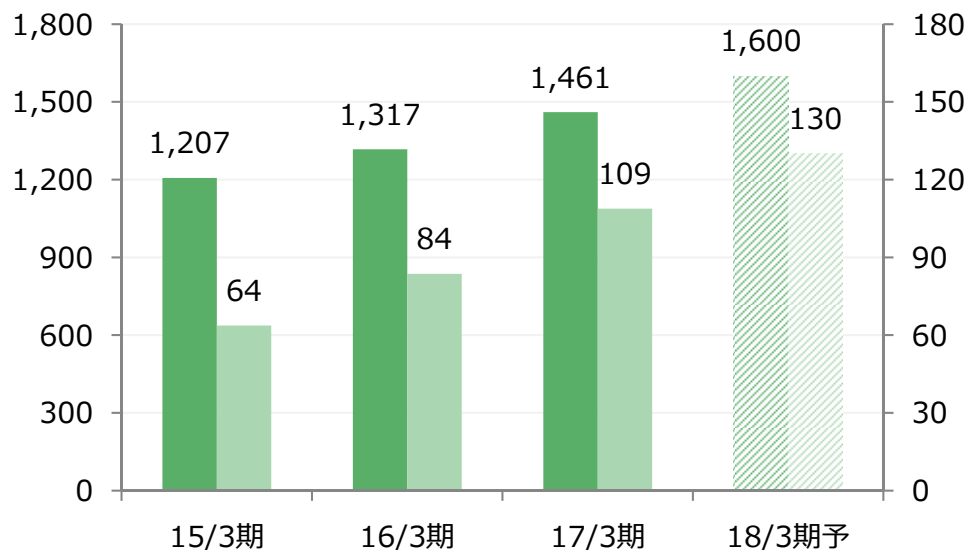
セグメント別

BELLUNA

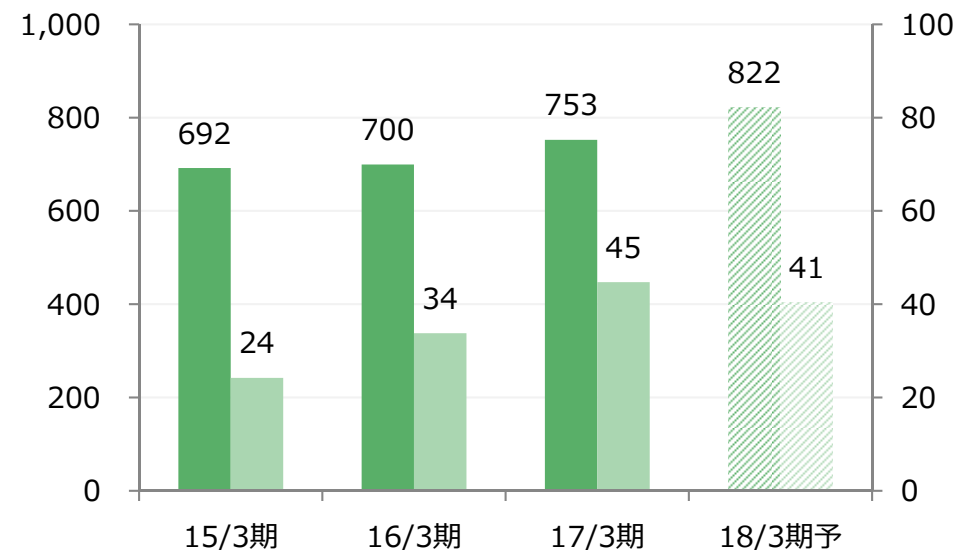
■ 売上高
■ 営業利益

単位：億円

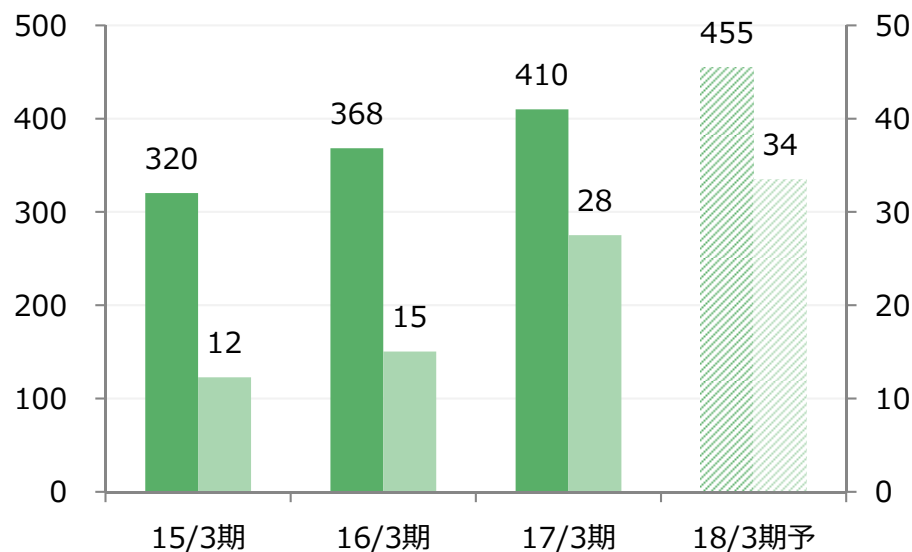
<連結合計>



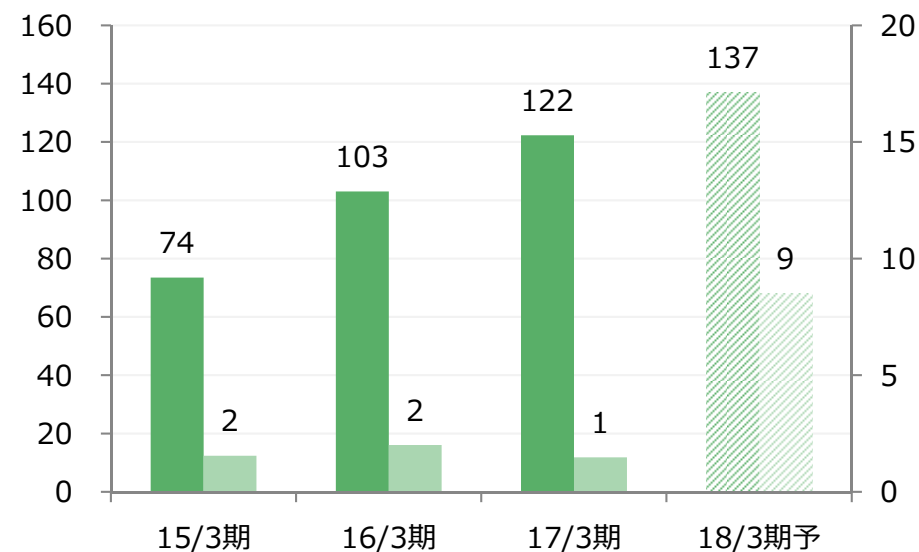
<総合通販事業>



<専門通販事業>

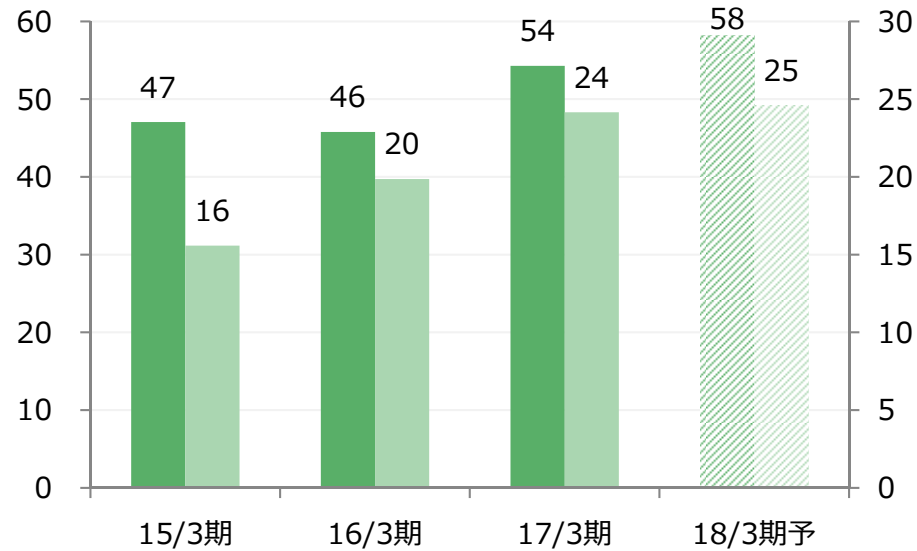


<店舗販売事業>

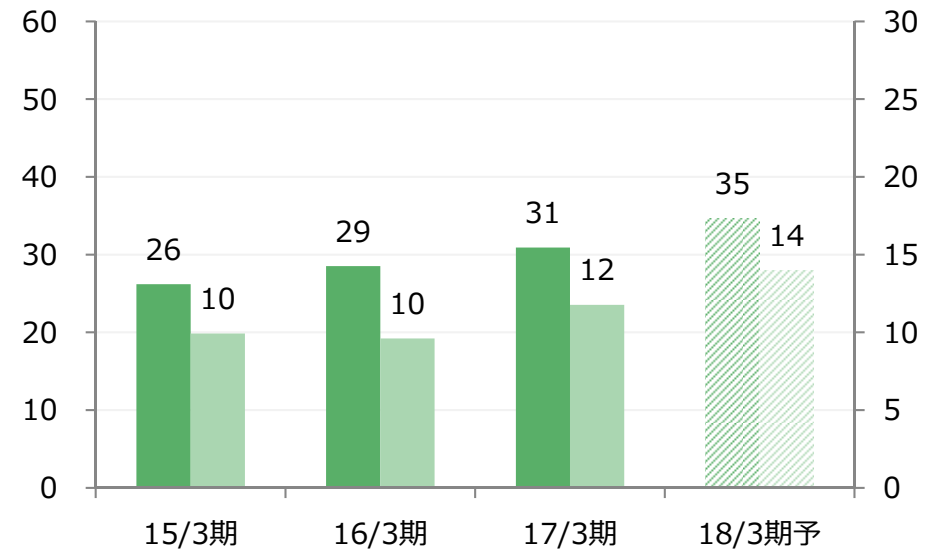


セグメント別

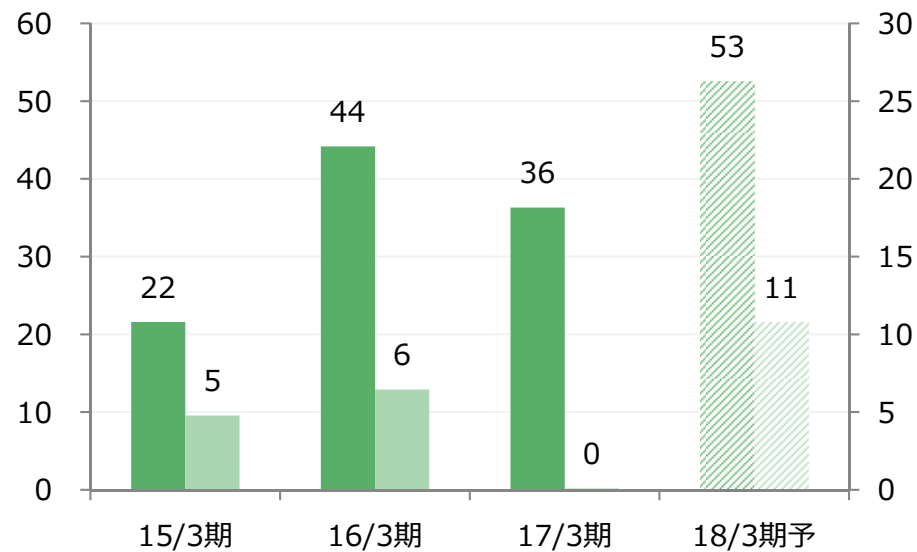
<ソリューション事業>



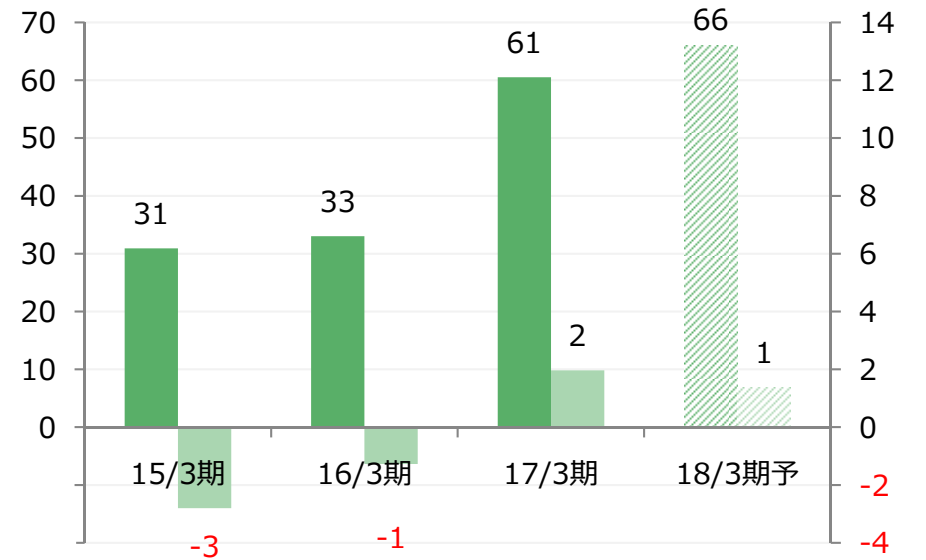
<ファイナンス事業>



<プロパティ事業>



<その他の事業>



<本資料に関する注意事項>

本資料は、2018年3月期第2四半期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2017年11月24日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当 麻生

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp